

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価計画

学校名	佐賀市立富士中学校			
1 前年度 評価結果の概要	・学校行事・学級活動等では、現在も生徒中心の活動となるように工夫している。今後も、どのクラスにおいても全生徒に役割を与え、その働きに対して承認することを通して、生徒の自己肯定感を高める工夫をする。 ・生徒指導については、細やかな対応ができた。今後も職員間の報告・連絡・相談を密にしながら、問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に努める。 ・富士校ならではの分離開一貫校の型をつくり、学校運営協議会の助言を得ながら地域と連携した学校作りを目指す。			
2 学校教育目標	地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成 ①一人ひとりに基礎学力を身に付けさせ、思考力・判断力を高める。 ②「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自他の命を大切に、郷土を愛する心豊かな生徒を育てる。 ③心身ともに健やかでたくましい生徒を育てる。地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成			
3 本年度の重点目標	①「五感教育」の推進－わかる授業づくりと家庭学習への取り組み ②「生徒理解」・「不登校対策」の推進－生徒を中心に据えた心の絆&居場所づくり ③3連携「小中連携・家庭連携・地域連携」の推進－コミュニティ・スクールとしての絆づくり ④教職員の資質向上と働き方改革を受けての取組の充実			
4 重点取組内容・成果指標				
(1)共通評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けたわかりやすい授業の実践	○学校評価アンケートにおいて、授業が「分かりやすい」の生徒回答率が90%以上。 ○保護者や生徒アンケートにおいて、授業中に生徒が主体的に学習に取り組んでいるとした回答が70%以上	・授業づくりのステップ1・2・3を活用した授業改善を目指す。 ・「基礎的・基本的」な知識・技能の定着を図る。 ・学習状況調査等の分析に基づく弱点の解消を推進。 ・授業作りにおけるサポートチームの協力等、実践的で協働的な体制づくりと、一人一回の校内における授業公開。 ・朝の会時に、「1分間スピーチ」を実施し、他の生徒の前で意見を述べる機会をつくる。	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校が「安心・楽しい」の生徒回答率が90%以上 ○ボランティア活動等の生徒会活動の活性化による参加率の前年度アップ	・QUを活用した受容的な学級集団作り ・職員全員で取り組む道徳授業の推進 ・パワーアッププラン等を活用した主体的な生徒会活動の促進	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、サポート相談員の状況に応じた活用と連携した相談体制の充実	・定期の生活アンケートを通じて的確な状況把握と即時対応 ・定期的な連絡会での情報共有と組織的な取組の推進	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学校行事や学級活動などで、生徒に役割を与え、できたことを承認することで自己肯定感を高める。 ・学校行事などを中心に、生徒主体の活動を促進する。	
	○◎郷土を誇りに思う生徒の育成	○◎「富士町が好き」、「富士町を自慢できる」の生徒回答率100%	・地域の教育資源、人材を積極的に活用した体験活動を通して「五感教育」の推進 ・ゲストティーチャー招聘によりふさと富士を大事にする生徒の育成	
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間以上420分以上の児童生徒80%以上 ○全員部活動(含社会体育・文化部)に所属、放課後等の活動の適切な促進 ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100%	・「早寝、早起き、朝ごはん運動」を家庭・地域と共に推進し、高い朝食喫食率を維持 ・週2回の部活動休みの設定と健康維持管理能力の向上の促進 ・保健だより、給食だよりの定期発行による意識の啓発推進	
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○時間を意識した仕事の効率化	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○学校評価職員アンケートにおいて、「サーバー内のデータを分かりやすく整理保存した」と回答する職員の割合85%以上	・定時退勤日(毎週水曜日)実施の徹底 ・長期休業期間中の定時退勤の実施 ・行事、指導の各手引きの次年度を見通した活用 ・次年度の業務改善を視野に入れた、データや作成した資料等の整理保存の徹底 ・分かりやすく整理保存し、各業務にかかる時間の短縮
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員60%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、特別支援教育委員会での情報共有	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○小中連携	○9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の研究推進	○小中学部の全教職員による相互授業参観及び授業研究会(年2回)	・小学部教員との協働による乗り入れ授業、交流活動、授業参観の計画的な実施 ・小中合同協議会の内容の充実、効果的な合同研修会の計画実施	
○コミュニティスクール	○学校運営協議会の充実	○保護者及び学校運営協議会委員の学校情報メール加入率100% ○学校HPを活用するようになったという保護者の割合90%以上	・学校便り、HP、学校情報メールの活用及び学校運営協議会を核とした連携の強化 ・保護者、地域への積極的な情報発信・受信の推進	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			